

表層型メタンハイドレートの研究開発 2023年度 研究成果報告会

- 主催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
エネルギー・環境領域 エネルギープロセス研究部門・環境創生研究部門
地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門・地質情報研究部門
- 開催日時 2024年2月29日(木) 13:15~17:10 (13:00頃からテスト配信開始予定)
- 開催方式 ハイブリッド開催 (会場およびオンライン Zoomウェビナー)
- 会場 TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原
- 参加費 無料 (要事前申込)
<https://unit.aist.go.jp/georesenv/topic/SMH/stmh2023.html>



プログラム

- 13:05~13:15 開催準備・事務連絡等
- 13:15~13:20 ご挨拶 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 資源開発課 井上加代子
- 13:20~13:35 表層型メタンハイドレートの研究開発 - 2023年度 of 取組 -
産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門 天満 則夫
- 13:35~14:30 **【生産技術の研究開発】**
広範囲鉛直掘削法による回収技術開発 - 掘削性能試験結果 -
三井海洋開発株式会社 事業開発部 岩本 駿介
揚収時のメタンハイドレート再生成による閉塞の解消に向けた流動剤開発
産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門 室町 実大
質疑応答
- 14:30~15:20 **【海洋調査】**
表層型メタンハイドレート賦存域の精密地下構造探査
- 丹後半島北方海域での高分解能3次元地震探査 -
産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 児玉 匡史
資源開発に向けた表層型メタンハイドレート賦存域の地盤強度調査
- 酒田沖・上越沖での掘削調査 -
産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門 鈴木 清史
地圏資源環境研究部門 佐藤 幹夫
質疑応答
- 15:20~15:40 休憩
- 15:40~17:10 **【環境影響評価】**
表層型メタンハイドレート開発における環境影響評価手法及び関連する法的事項
日本エヌ・ユー・エス株式会社 伊藤 博和
大型水槽を用いた疑似現場実験による生物試験
公益財団法人 海洋生物環境研究所 実証試験場 林 正裕
表層型メタンハイドレート賦存海域における深海性ヨコエビの捕獲、飼育および生物影響
評価実験
公益財団法人 海洋生物環境研究所 中央研究所 石田 洋
表層型メタンハイドレート開発に係る環境影響予測モデル
株式会社サイエンスアンドテクノロジー 林 正能
質疑応答
- 17:10 閉会

※上記内容は1月29日現在の予定です。また、都合により講演名などが変更になる場合があります。

■ お問い合わせ 表層型メタンハイドレート 事務局 (M-smh.office-ml@aist.go.jp)